資　料　5

平成29年度　第4回　事業評価監視委員会　審議案件一覧表［事後評価］

番号	重点要点	県名	事業名				事業計画等の変化			費用対効果分析の要因の変化							費用便益費（B/C）		【参考】前回評価には含まれていない定性的効果	対応方針（原案）
			港名	プロジェクト名	事業評価実施理由	前回評価（年度）	対象施設	施設規模（総延長）	変更内容	全体事業費		事業期間		主な変化要因	主な便益・効果		主な変化要因	全体			
										前回	今回［］は前回との差	前回	今回［］は前回との差		前回	今回［］は前回との差		前回	今回［］は前回との差		
12	重点	宮城県	仙台塩釜港	仙台塩釜港 仙台港区 中野地区 複合一貫輸送ターミナル改良事業	供用開始後5年以内（H25.2）	H20［新規］	岸壁（水深9m）（改良）（耐震）	220m	工法変更	101億円	68億円［−33億円］	平成26年度	平成24年度［−2年］	新たな岸壁改良工法の採用によるコスト縮減	①輸送コスト削減（完成自動車、シャーシ） 163万トン/年 ②震災時緊急物資輸送コスト削減 3,391トン/震災後1ヶ月 ③震災時一般貨物輸送コスト削減（完成自動車、シャーシ） 156万トン/震災1ヶ月後～2年後	①輸送コスト削減（完成自動車、シャーシ） 175万トン/年［+12万トン］ ②震災時緊急物資輸送コスト削減 3,622トン/震災後1ヶ月［+231トン］ ③震災時一般貨物輸送コスト削減（完成自動車、シャーシ） 167万トン/震災1ヶ月後～2年後［+11万トン］	取扱実績及び背後人口の変化により見直し	4.0	5.5［＋1.5］	完成自動車の輸送拠点形成 ①輸送ネットワークの構築によるアクセス性の向上 ②自動車関連企業の進出	事業の目的に対する効果を発現しており、今後の事後評価及び改善措置の必要性はない。
							岸壁（水深9m）（改良）	220m	工法変更												
							航路・泊地（水深9m）	24.0ha	−												
							泊地（水深9m）	2.2ha	−												
							臨港道路	250m	−												
							埠頭用地	7.8ha	計画変更												